



江別市立豊幌小学校 学校だより

令和5年度 号外
全国学力・学習状況調査 結果
発行：令和5年10月12日
発行者：佐藤 一希

江別市豊幌419番地
011-383-4440
豊幌小ホームページ→



令和5年4月18日(火)、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。本校児童の分析、結果がまとまりましたので、お知らせします。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の学習指導に役立てることを目的として行っています。本校も目的を踏まえ、今回明らかになった課題を分析し、課題解決のための授業改善に努めて参ります。

全国学力・学習状況調査結果報告

1、結果概要

[全国平均正答率との比較から見た本校の結果]

	国語	算数
本校の平均	下回っている	下回っている
全道平均(正答率(正答数/問題数))	66 (9.2/14)	61 (9.8/16)
全国	67.2(9.4/14)	62.5(10.1/16)

2、領域ごとの結果

国語

	学習指導要領の内容	全国平均との比較
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	低い
	(2) 情報の扱い方に関する事項	高い
思考力 判断力 表現力等	A 話すこと・聞くこと	やや低い
	B 書くこと	低い
	C 読むこと	低い

算数

	学習指導要領の内容	全国平均との比較
数と計算	数と計算	低い
図形	図形	低い
測定	測定	—
変化と関係	変化と関係	同様
データの活用	データの活用	低い

3、各教科の傾向と指導改善のポイント

(ア) 国語

①全国と比較して正答率が高かった問題

〈問題番号3二〉

問題の趣旨
目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる

(正答) 記述式

※寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランテアを続けているのかについて、わかったことをまとめて書く力が求められます。

※左の原用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

はじめは、見守りボランテアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、

40字

40字

二 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランテアを続けているのかについて、分かったことを「インタビュウの様子」の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランテアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。
- 「インタビュウの様子」の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

②全国と比較して正答率が低かった問題

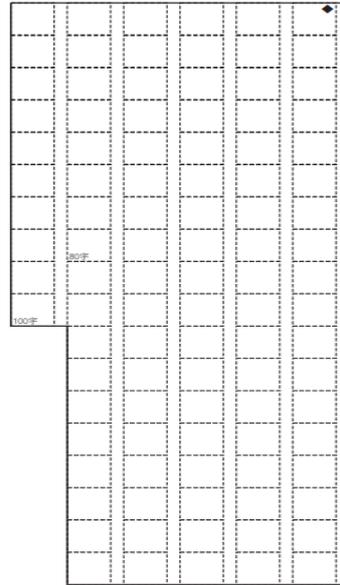
〈問題番号 2 四〉

問題の趣旨

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる

(正答) 記述式

※資料を読み、運動と食事の両方についてわかったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く力が求められます。



※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

(条件)

四 相田さんは、「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

■本校の指導改善のポイント■

国語では、「読むこと」の力を身に着けるために

- ・ 基礎的事項を授業の中で繰り返し使いながら語句を身に着けていきます。
- ・ 目的に応じて必要な情報を見つけたり、文を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめたりする力(読むこと)が弱い傾向にあります。このことから、問題を理解し、いくつかある解決方法から自分の考えを選び、解答する力が課題であると考えます。

そのために、以下の取組を授業の中で進めていきます。

- (1) 要約する
- (2) 目的に応じて必要な情報を見つける
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを持つ場面を授業の中で作り、説明したり話を聞いたりして文の意味を理解する機会を作る

(イ) 算数

①全国と比較して正答率が高かった問題

〈問題番号 3 (1)〉

問題の趣旨

() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる

(正答例) 1

3

辞典やファイルを、教室の後ろに並べようとしています。

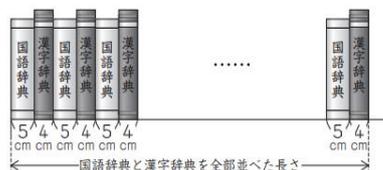
- (1) わかなさんの学級では、国語辞典と漢字辞典を1人1冊ずつ使えるように、ロッカーの上に並べることにしました。そこで、並べる前に、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、どのくらいになるのかを考えています。国語辞典1冊の厚さは5 cm、漢字辞典1冊の厚さは4 cm、学級の人数は28人です。



国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



1人分ずつ並べたとして考えることもできます。



わかなさんとあさらさんも、あさらさんの並べ方でも、どちらも同じ長さになるはずですね。

わかなさんとあさらさんは、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、何 cm になるのかを計算で求めようと考え、それぞれ自分の並べ方をもとにして、次のような式を書きました。

【わかなさんの式】

$$5 \times 28 + 4 \times 28$$

【あさらさんの式】

$$(5 + 4) \times 28$$

【わかなさんの式】の「 5×28 」と、【あさらさんの式】の「 $5 + 4$ 」は、何を表していますか。

下のアからエまでの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 国語辞典 28 冊を並べた長さ
- イ 漢字辞典 28 冊を並べた長さ
- ウ 国語辞典1冊の厚さと漢字辞典1冊の厚さを合わせた長さ
- エ 国語辞典 28 冊と漢字辞典 28 冊を並べた長さ

10	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
11	読書は好きですか。
12	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（教わっていない）。

(イ) 全国平均を下回っている特徴的なもの

13	算数の勉強が好きですか
14	これまで学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか

(ウ) 昨年度と比較して改善が見られるもの

15	学校に行くのが楽しいと思いますか。
16	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、勉強をしている。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、読書をする。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。1時間以上）
18	今住んでいる地域の行事に参加している。

■本校の改善のポイント■

- 『算数の勉強は好きですか』の質問に対し、「好き」と回答した割合が全国平均を大きく下回っています。これは、苦手意識のあらわれであり、算数の正答率の低さとも関係があると考えられます。今年度の本校の校内研究主題〔「わかる・できる」経験を通して主体的に学び合う子どもの育成〕を実践し、今後も授業改善を進めていきます。具体的には、対話を重視した学び合う場面の設定や、ICT機器の活用を効果的に取り入れていくことで、意欲的に授業に参加できるようにしていきます。
- 『先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う』『人の役に立つ人間になりたいと思う』と6年生全員が感じています。子どもたちに対し肯定的な声かけを増やすことを全教職員で確認し、その取組を継続してきた成果と考えます。今後も継続し、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高めていきます。
- 『困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか』の結果から、先生・学校にいる大人に対する信頼が厚いこともわかります。「肯定的な声かけ」の継続により信頼関係の構築につながったと考えます。今後も、子どもたちに寄り添い、肯定的な声かけを継続していきます。
- 『友だち関係に満足している』『学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている』と6年生全員が感じています。今後も、子ども同士や、子どもと教師との間の親和的な人間関係を大切に、互いの良さや頑張り認め合える学級風土を作っていきます。

今年度の調査問題（正答例、解説）は、こちらでご覧いただけます。

<https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>

